

# 令和元年度福井県計画に関する 事後評価

令和4年8月  
福井県

### 3. 事業の実施状況

令和元年度福井県計画に規定した事業について、令和3年度計画終了時における事業の実施状況を記載。

事業の区分	2. 居宅等における医療の提供に関する事業	
事業名	【事業 No.6(医療分)】 重症心身障害児者支援体制確保事業	【総事業費】 37,280 千円
事業の対象となる区域	福井・坂井、奥越、丹南、嶺南	
事業の実施主体	障害児を受け入れる機関	
事業の期間	平成31年4月～令和4年3月 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	地域医療構想上求められている医療度の高い患者を受け入れるという慢性期病床の役割を担うためには、重症心身障害児者等の長期入院患者の円滑な在宅医療への移行を支援する必要がある。 アウトカム指標:在宅医療の利用者数の2割増 (H28:5,200 人 → R7:6,000 人)	
事業の内容 (当初計画)	医療的ケアが必要な在宅の障害児が地域で支援が受けられるよう医療、福祉等の連携を図る会議を開催	
アウトプット指標 (当初の目標値)	医療的ケアが可能な機関数:27か所	
アウトプット指標 (達成値)	観察できた 在宅医療利用者数 H28:5,200 人 → R3:6,936 人	
事業の有効性・効率性	<p>(1) 事業の有効性</p> <p>在宅で療養する重症心身障害児者の一時受け入れを行う施設の体制整備を行うことにより、在宅医療に係る提供体制が強化された。</p> <p>(2) 事業の効率性</p> <p>日中や短期入所で医療ケアが必要な重症心身障害児者を受け入れる事業所を拡充し、受入体制を整備することができた。</p>	
	観察できた 在宅医療利用者数 H28:5,200 → R3:6,936 人	
その他	(年度別基金活用実績)	

	<i>R元:24,514 千円 R3:12,766 千円</i>
--	----------------------------------

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【事業 No.15(医療分)】 Uターン促進修学研修資金事業	【総事業費】 4,672 千円
事業の対象となる区域	福井・坂井、奥越、丹南、嶺南	
事業の実施主体	地域医療支援病院、公的病院等	
事業の期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	県内医師数は 1,922 人(H28.12)で、2年前と比較して微増しているが、平成 30 年度の県内病院からの医師派遣要望 76 人に対し、県から派遣できた医師は 49 人になっており、県内の医師不足解消に至っていない。	
	アウトカム指標: 不足する地域や医療機関で従事する医師数 H29:39 人 → R5:81 人 R2:61 人 → R3:68 人	
事業の内容 (当初計画)	地域医療体制協議会の議論を踏まえ、医師派遣等を行う医療機関の運営等の支援	
アウトプット指標 (当初の目標値)	当該事業による医師派遣数: 5人	
アウトプット指標 (達成値)	当事業により資金を貸与した医学生・臨床研修医数 R4: 1人	
事業の有効性・効率性	<b>(1) 事業の有効性</b> 当事業により、1人の福井県出身県外大学医学部生の確保につながった	
	<b>(2) 事業の効率性</b> 臨床研修終了後3年間、県内で不足する診療科の医師として勤務する者を2名確保することができた	
その他	当事業により資金を貸与した医学生・臨床研修医数 R2～R 4: 3人 (年度別基金活用実績) R3:4,672 千円	

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【事業 NO. 13 (医療分)】 ドクタープール事業	【総事業費】 2,200 千円
事業の対象となる区域	福井・坂井、奥越、丹南、嶺南	
事業の実施主体	福井県	
事業の期間	令和 2 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	県内医師数は 1,955 人(H30.12)で、2年前と比較して微増しているが、令和元年度の県内病院からの医師派遣要望 76 人に対し、県から派遣できた医師は 49 人になっており、県内の医師不足解消に至っていない。	
	アウトカム指標：ドクタープール事業で医療機関に派遣・あっせんした医師数 R2:2人	
事業の内容（当初計画）	UIターン意向の医師の登録、医師と医療機関のマッチング、地域へ派遣するための医師を県職員として採用	
アウトプット指標（当初の目標値）	医師の登録数:10 人	
アウトプット指標（達成値）	医師の登録数:25人	
事業の有効性・効率性	観察できた 本事業で医療機関に派遣・あっせんした医師数：7 人	
	<p>(1) 事業の有効性 本事業により 5 人の医師が医療機関に派遣（4 人）・あっせん（3 人）された。</p> <p>(2) 事業の効率性 登録医師と医療機関のマッチングや登録医師を県職員として採用し派遣することにより県内の医師不足の解消につながる。</p>	
その他	(年度別基金活用実績) R3:2,200 千円	

事業の区分	3. 介護施設等の整備に関する事業												
事業名	【No.1 (介護分)】 介護施設等整備事業	【総事業費】 117,697 千円											
事業の対象となる区域	福井・坂井圏域、丹南圏域												
事業の実施主体	福井県												
事業の期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了												
背景にある医療・介護ニーズ	<p>地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域密着型サービス施設等の整備等を支援することにより、地域の実情に応じた介護サービス提供体制の整備を促進する。</p> <p>アウトカム指標：介護5施設（特養、老健、介護療養型医療施設、特定施設入居者生活介護、認知症高齢者グループホーム）の定員総数を、令和4年3月末11,469人（+152人）に増床する。</p>												
事業の内容（当初計画）	<p>① 地域密着型サービス施設等の整備に対する助成</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><td style="text-align: center;">整備予定施設数</td></tr> <tr><td>地域密着型特別養護老人ホーム：29床（1カ所）</td></tr> <tr><td>認知症高齢者グループホーム：54床（5カ所）</td></tr> <tr><td>看護小規模多機能型居宅介護事業所：18床（2カ所）</td></tr> <tr><td>定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所：2カ所</td></tr> <tr><td>介護予防拠点：17カ所</td></tr> </table> <p>② 介護施設等の開設・設置に必要な準備経費に対する支援</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><td style="text-align: center;">整備予定施設数</td></tr> <tr><td>地域密着型特別養護老人ホーム：29床（1カ所）</td></tr> <tr><td>認知症高齢者グループホーム：54床（5カ所）</td></tr> <tr><td>看護小規模多機能型居宅介護事業所：18床（2カ所）</td></tr> <tr><td>定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所：2カ所</td></tr> </table> <p>③ 既存の特別養護老人ホーム等のユニット化改修等支援事業 既存の特別養護老人ホームにおける多床室のプライバシー保護のための改修を行うため等の支援を行う。</p> <p>④ 新型コロナウイルスの感染拡大を防止する観点から、介護施設等の簡易陰圧装置の設置にかかる補助支援を行う。</p> <p>⑤</p>		整備予定施設数	地域密着型特別養護老人ホーム：29床（1カ所）	認知症高齢者グループホーム：54床（5カ所）	看護小規模多機能型居宅介護事業所：18床（2カ所）	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所：2カ所	介護予防拠点：17カ所	整備予定施設数	地域密着型特別養護老人ホーム：29床（1カ所）	認知症高齢者グループホーム：54床（5カ所）	看護小規模多機能型居宅介護事業所：18床（2カ所）	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所：2カ所
整備予定施設数													
地域密着型特別養護老人ホーム：29床（1カ所）													
認知症高齢者グループホーム：54床（5カ所）													
看護小規模多機能型居宅介護事業所：18床（2カ所）													
定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所：2カ所													
介護予防拠点：17カ所													
整備予定施設数													
地域密着型特別養護老人ホーム：29床（1カ所）													
認知症高齢者グループホーム：54床（5カ所）													
看護小規模多機能型居宅介護事業所：18床（2カ所）													
定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所：2カ所													

<p>アウトプット 指標（当初の 目標値）</p>	<p>① 施設サービス  (床、括弧内は施設数)</p> <table border="1" data-bbox="411 286 1396 488"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特別養護老人ホーム</td> <td>5,520(113)</td> <td>5,520(113)</td> </tr> <tr> <td>認知症高齢者グループホーム</td> <td>1,343(104)</td> <td>1,342(104)</td> </tr> <tr> <td>介護予防拠点</td> <td>(3)</td> <td>(17)</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 地域密着型サービス  (人/年分、括弧内は施設数)</p> <table border="1" data-bbox="411 582 1396 734"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>令和元年度</th> <th>平成2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所</td> <td>3,468(13)</td> <td>3,468(13)</td> </tr> <tr> <td>看護小規模多機能型居宅介護事業所</td> <td>2,694(14)</td> <td>2,694(14)</td> </tr> </tbody> </table>	種別	令和元年度	令和2年度	特別養護老人ホーム	5,520(113)	5,520(113)	認知症高齢者グループホーム	1,343(104)	1,342(104)	介護予防拠点	(3)	(17)	種別	令和元年度	平成2年度	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所	3,468(13)	3,468(13)	看護小規模多機能型居宅介護事業所	2,694(14)	2,694(14)
種別	令和元年度	令和2年度																				
特別養護老人ホーム	5,520(113)	5,520(113)																				
認知症高齢者グループホーム	1,343(104)	1,342(104)																				
介護予防拠点	(3)	(17)																				
種別	令和元年度	平成2年度																				
定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所	3,468(13)	3,468(13)																				
看護小規模多機能型居宅介護事業所	2,694(14)	2,694(14)																				
<p>アウトプット 指標（達成値）</p>	<p>① 地域密着型サービス等  (括弧内は施設数)</p> <table border="1" data-bbox="411 851 1396 958"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護予防拠点</td> <td>(3)</td> <td>(12)</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 介護施設等の開設・設置に必要な準備経費に対する支援  (床、括弧内は施設数)</p> <table border="1" data-bbox="411 1048 1396 1155"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護医療院</td> <td>—(—)</td> <td>16(1)</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 介護施設等の開設・設置に必要な準備経費に対する支援  (床、括弧内は施設数)</p> <table border="1" data-bbox="411 1245 1396 1352"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>多床室のプライバシー保護ための改修</td> <td>—(—)</td> <td>36(1)</td> </tr> </tbody> </table>	種別	令和元年度	令和2年度	介護予防拠点	(3)	(12)	種別	令和元年度	令和2年度	介護医療院	—(—)	16(1)	種別	令和元年度	令和2年度	多床室のプライバシー保護ための改修	—(—)	36(1)			
種別	令和元年度	令和2年度																				
介護予防拠点	(3)	(12)																				
種別	令和元年度	令和2年度																				
介護医療院	—(—)	16(1)																				
種別	令和元年度	令和2年度																				
多床室のプライバシー保護ための改修	—(—)	36(1)																				
<p>事業の有効性・効率性</p>	<p>介護5施設（特養、老健、介護療養型医療施設、特定施設入居者生活介護、認知症高齢者グループホーム）の令和3年3月31日現在 定員総数 11,317人(前年対比+81人)</p> <p><b>(1) 事業の有効性</b> 地域密着型サービス施設等の整備により介護5施設（特養、老健、介護療養型医療施設、特定施設入居者生活介護、認知症高齢者グループホーム）の定員総数が11,317人に増加し、高齢者が地域において、安心して生活できる体制の構築が図られた。</p> <p><b>(2) 事業の効率性</b> 地域密着型サービスの事業者選定については公募を必須とした他、建設会社等を決定する際には入札を行う等、手続について行政の手法を紹介することで一定の共通認識のもとで施設整備を行い、事業全体の効率化を図った。</p>																					
<p>その他</p>																						